



つるおかSDGs推進パートナーの取組紹介

企業等名	鶴岡市立東部保育園								
現在の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育を通して、絵本や動画を活用したり、行事で取り上げたり、子どもたちや保護者へのSDGs周知活動を積極的に行っています。 ・ 給食で出た野菜や果物の皮で、コンポスト作りをしたり、子どもたちと一緒に赤川や海など園外保育に出かけ、ごみ拾いに取り組んでいます。 								
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2030年の未来を担う子どもたちにSDGsの重要性を伝え、「今からすべきことは何か」を子どもたちと一緒に考え、取り組んでいきます。 ・ 職員全員が身近な課題を大切に捉え、サステナブルな生活意識を持っていきます。 								
関連するゴール									
	○	○	○	○					○
	○		○	○	○				
<p>東部保育園では、ごく当たり前の日常として『生活を送りながらずっとSDGs活動につながる』というような、保育園で出来る取り組みを子どもたちと一緒に進めています。保育の中でSDGsの目標に関する絵本の読み聞かせをしたり、行事の中で取り上げたりしながら、子どもたちがSDGsについて知ったり、感じたり、考えられるような環境づくりをしています。無理に子どもたちにSDGsの意味を理解させようとするのではなく、まずは子どもに関わる大人がサステナブルな生活意識を持つことが大切だと考え、保護者の方々にも園でのSDGsの取組みについて情報発信し、周知活動を進めています。</p> <p>具体的な取り組みの例としては、給食のお手伝いをして出た野菜の皮や食べた後の果物の皮を利用して堆肥作りをしたり、雨水を貯めて畑や花壇の水かけに利用したり、園外保育に出かけた際はゴミ拾いをしたりしています。また、日常の園生活の中で、お菓子などの空箱を使ってのおもちゃ作り、電気や水の無駄使いはしない、ごみの分別など、当たり前で出来るSDGsの取組を子どもたちに伝えていきます。SDGsは、子どもたちの未来のためのもの。『今からすべきことは何か』を子どもたちと一緒に考えながらこれからも取り組みを続けていきたいと考えています。</p>									
URL	http://www.keisen-swc.jp/toubu/index.html								

